

2022年版

【デジタルマーケティングにおけるWebサイトの重要性】

約9割のデジタルマーケティング担当者が、今後Webサイトに関する予算を増額する見込み
Web施策では「アクセス解析」「情報発信」重要視

調査概要

調査実施者
株式会社サイト・パブリス

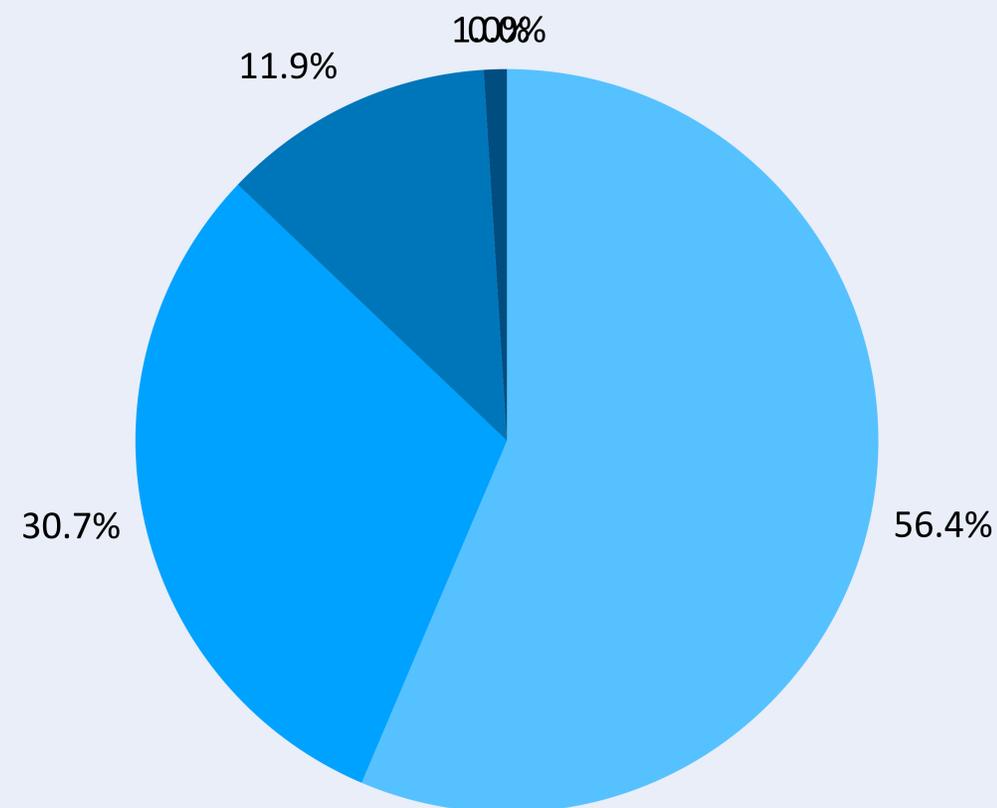
調査概要
デジタルマーケティングとCMSに関する調査

調査方法
IDEATECHが提供するリサーチPR「リサピー®」の企画による
インターネット調査

調査期間
2022年11月1日～同年11月8日

有効回答
デジタルマーケティング担当者101名
※構成比は小数点以下第2位を四捨五入しているため、合計しても必ずしも100とはなりません。

Q1 あなたは、デジタルマーケティングを推進する上で、「Webサイト」は重要になっていると思いますか。*オウンドメディア、ポータルサイト、LPなどを含む。

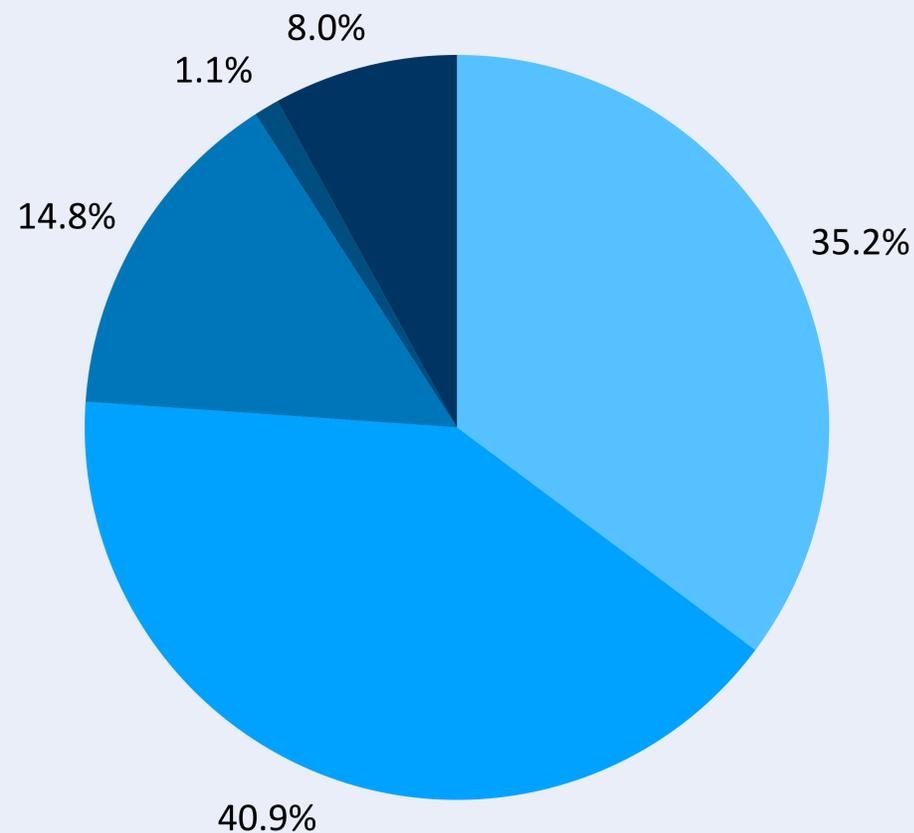


- 56.4% 非常にそう思う
- 30.7% ややそう思う
- 11.9% あまりそう思わない
- 1.0% 全くそう思わない
- 0.0% わからない/答えられない

デジタルマーケティングを推進する上で、87.1%が「Webサイト」が重要になっていると回答しました。

Q2

Q1で「非常にそう思う」「ややそう思う」と回答した方にお聞きします。Webサイトの改修・構築・立ち上げに関する予算は自社において今後増えていくと思いますか。

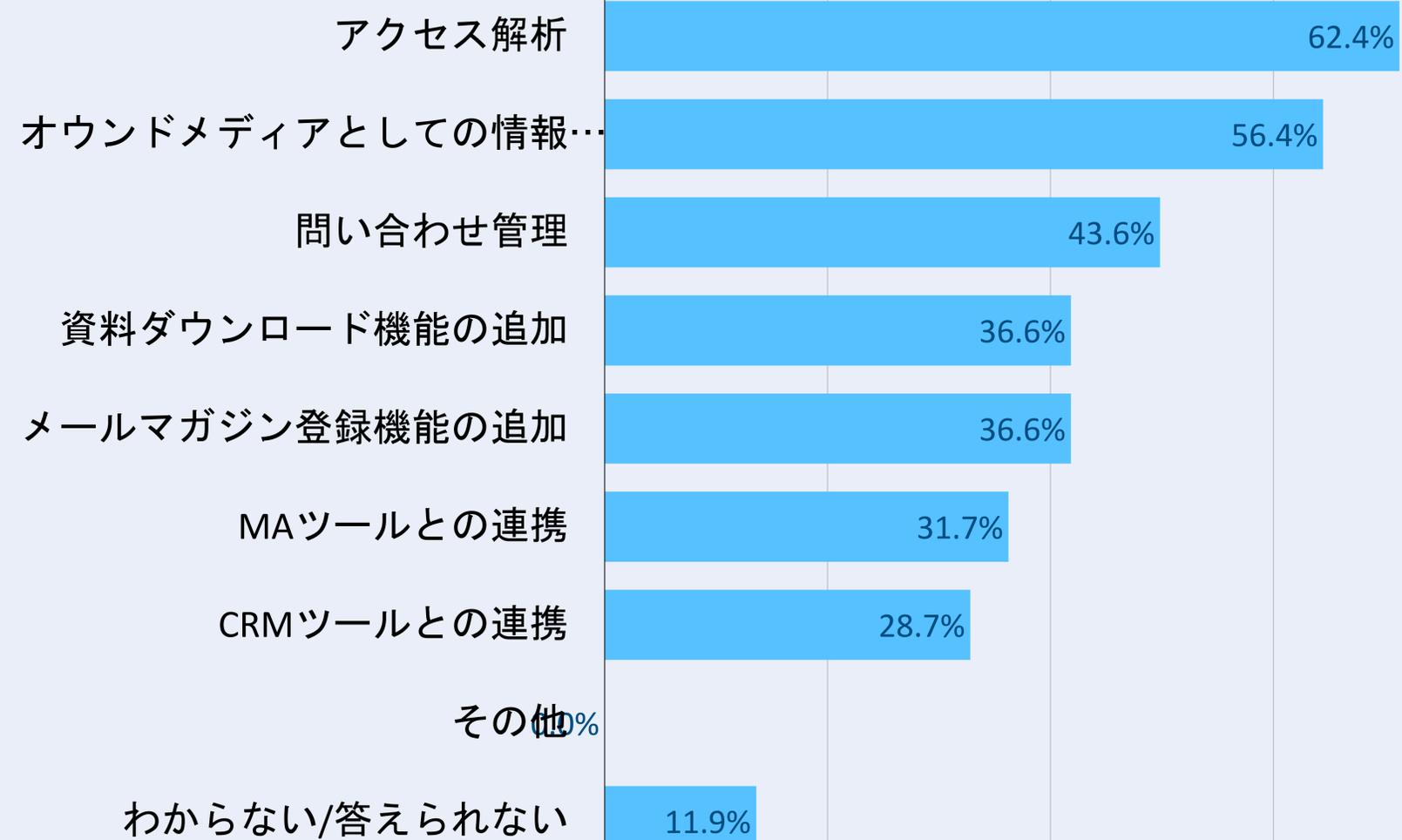


- 35.2% 非常にそう思う
- 40.9% ややそう思う
- 14.8% あまりそう思わない
- 1.1% 全くそう思わない
- 8.0% わからない/答えられない

Webサイトに関する予算、76.1%が今後増加することを想定していることが分かりました。

Q3

デジタルマーケティングの一環として、「Webサイト」上で行ってきた施策について、当てはまるもの全て教えてください。（複数回答）

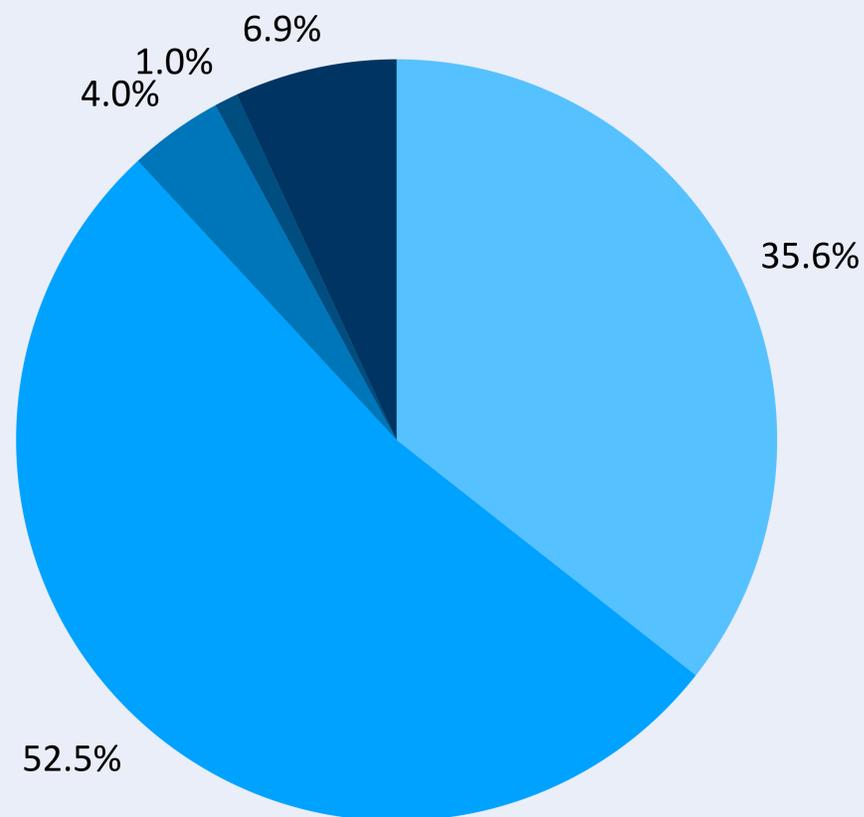


「Webサイト」上で行ってきた施策、「アクセス解析」が62.4%で最多となりました。

Q4

あなたは、デジタルマーケティングを実行する上で、CMSが重要な役割を担うと思いますか。

*CMS・・・「Content Management System：コンテンツ・マネジメント・システム」の略で、Webサイトのコンテンツを構成するテキストや画像、デザイン・レイアウト情報（テンプレート）などを一元的に保存・管理するシステム。

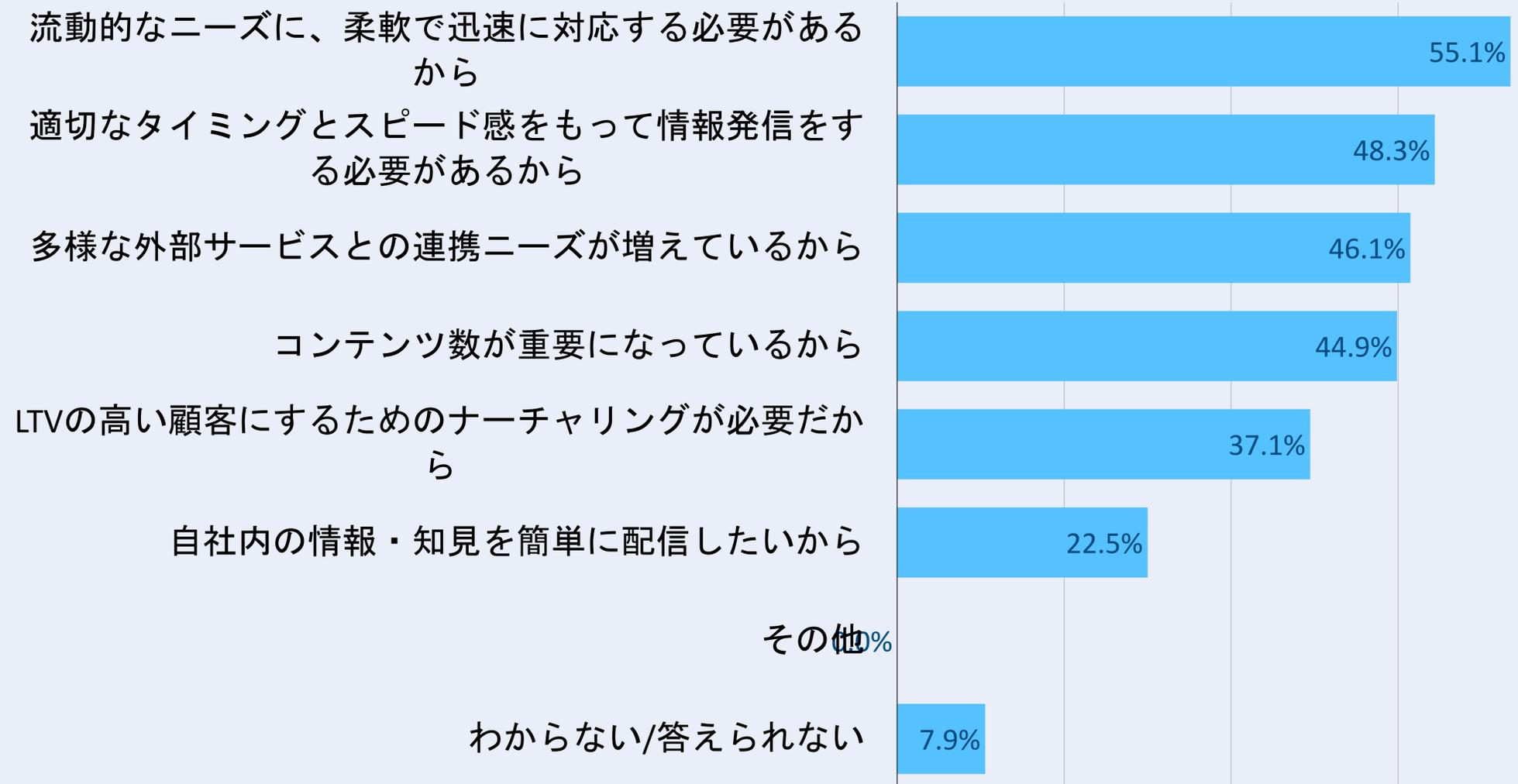


- 35.6% 非常にそう思う
- 52.5% ややそう思う
- 4.0% あまりそう思わない
- 1.0% 全くそう思わない
- 6.9% わからない/答えられない

デジタルマーケティングにおいて、88.1%が「CMS」を重要視していることが分かりました。

Q5

Q4で「非常にそう思う」「ややそう思う」と回答した方にお聞きします。デジタルマーケティングとサイトを連携させる上で、CMSが重要だと思う理由について、当てはまるものを全て教えてください。（複数回答）



理由として「流動的なニーズに柔軟・迅速に対応する必要があるから」が最多で55.1%となりました。

Q6 Q5で「わからない/答えられない」以外を回答した方にお聞きします。Q5で回答した以外に、CMSが重要だと思う理由があれば、自由に教えてください。（自由回答）

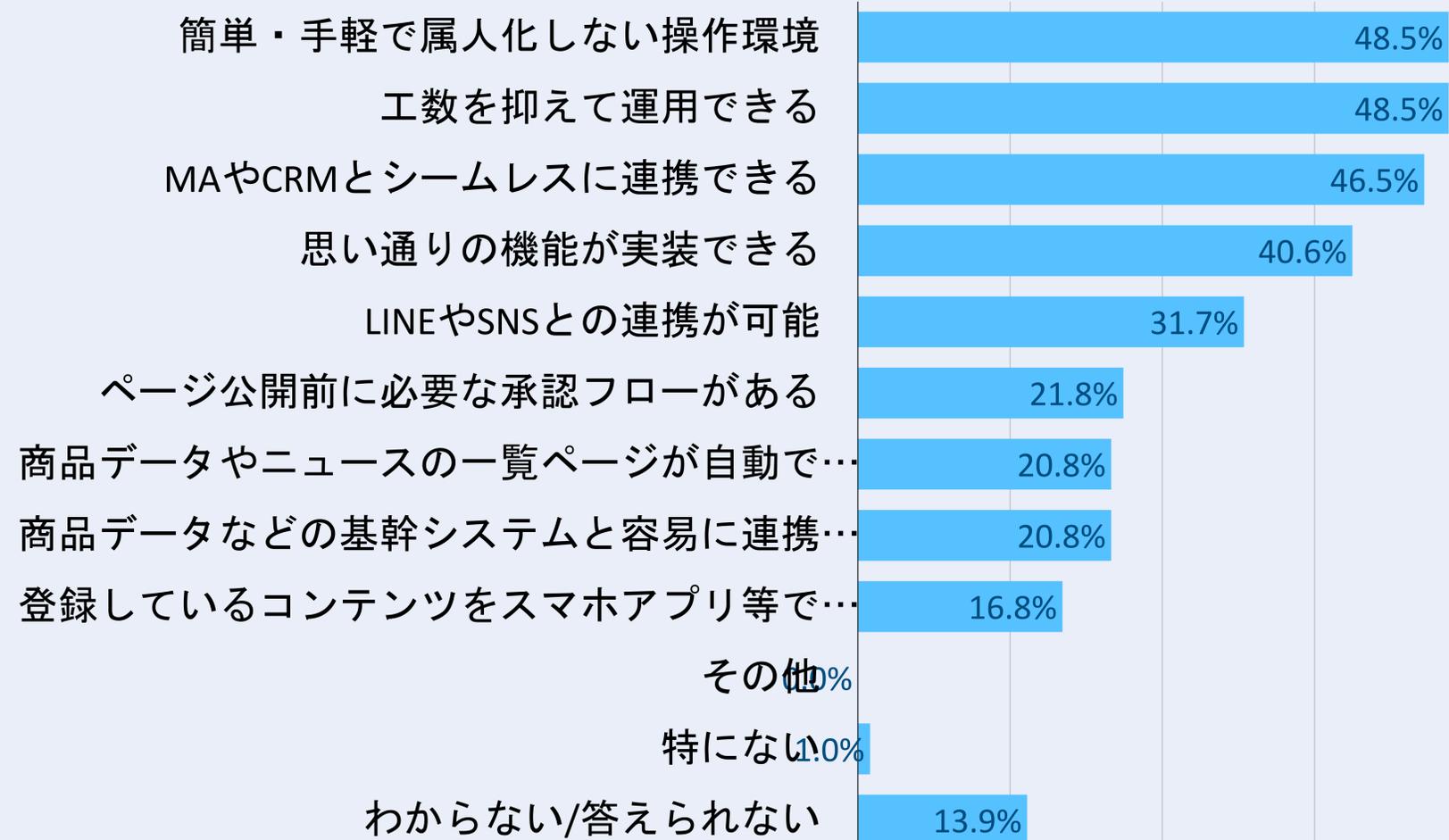
＜自由回答・一部抜粋＞

- ・ 48歳：特別なスキルがない人でも運用できるから。
- ・ 45歳：タイムリーな情報発信のため。
- ・ 41歳：HTMLの知識がなくてもある程度自由にデザインできる為。

他にも「特別なスキルがない人でも運用できるから」や「タイムリーな情報発信のため」などの理由も挙がりました。

Q7

今後、CMSに求めるポイントについて、当てはまる選択肢全てを教えてください。（複数回答）



CMSに求めるポイントとして、「簡単・手軽で属人化しない操作環境」や「工数を抑えて運用できる」が最多で48.5%となりました。

Q8

Q7で「わからない/答えられない」「特にない」以外を回答した方にお聞きします。Q7で回答した以外に、今後、CMSに求めるポイントがあれば、自由に教えてください。（自由回答）

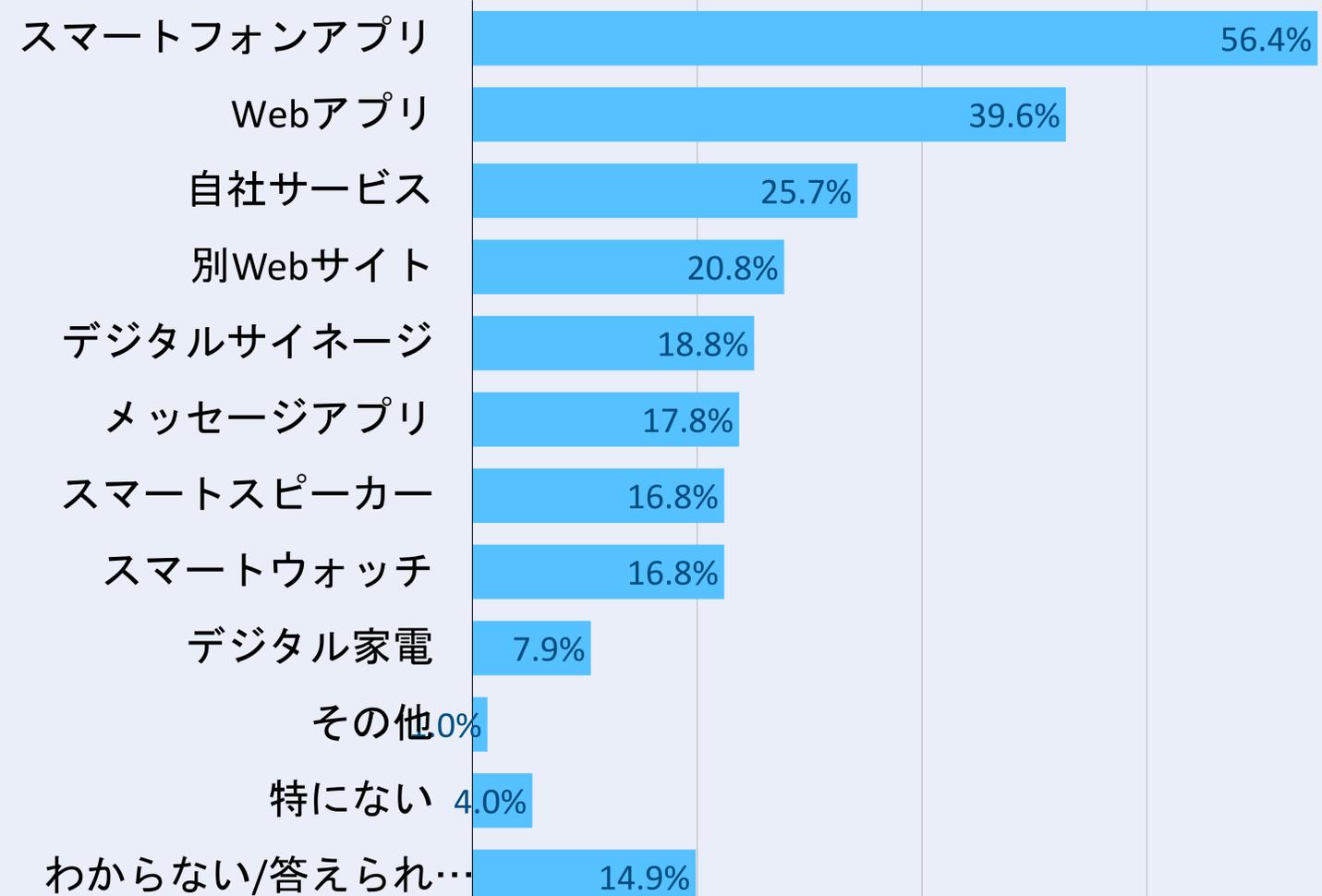
<自由回答・一部抜粋>

- ・ 46歳：他システムとの連携のほか、自社でのカスタマイズが可能かどうか。
- ・ 41歳：GAのような集計機能。
- ・ 32歳：構造化データを簡単に追加できる機能。
- ・ 45歳：3rdパーティとの連携。
- ・ 34歳：カスタマイズ性、料金プランが豊富、効果分析が容易にできることやデータがダウンロードしやすいこと。
- ・ 42歳：効果と費用のバランス。

他にも「特別なスキルがない人でも運用できるから」や「タイムリーな情報発信のため」などの理由も挙がりました。

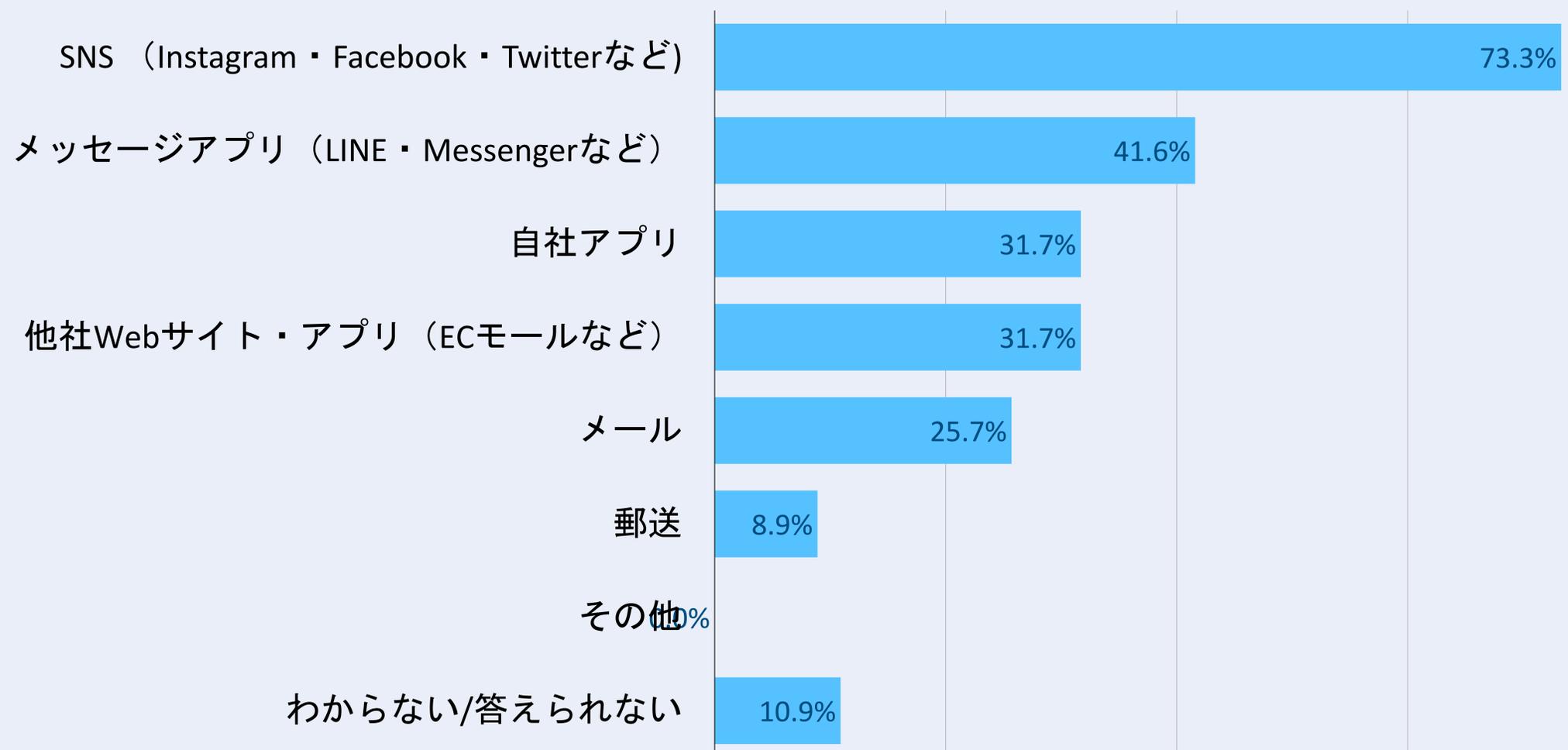
Q9

Webサイトで活用しているコンテンツについて、今後別デバイスで配信できるとしたらどのような外部サービスとの連携を希望しますか。（複数回答）



56.4%が、Webサイトのコンテンツを今後「スマートフォンアプリ」でも配信を希望していることが分かりました。

Q10 顧客エンゲージメントやLTVを考える際、「Webサイト」と同様に有効なコミュニケーション手段はありますか。（複数回答）



「Webサイト」と同様に有効なコミュニケーション手段、73.3%が「SNS」と回答しました。

サービス紹介

つながる、伝える、進化する

SITE PUBLIS
Connect

SITE PUBLIS

SITE PUBLISは、2003年発売の純国産の商用版CMSです。企業を取り巻くすべてのステークホルダーに対する、最適なコミュニケーションの実現を目指したステークホルダーコミュニケーションツールとして、あらゆる業種・業態の企業に対応し、世の中の変化に応じたアップデートにより19年にわたって数多くの企業・団体のWebサイトに導入されています。また、自社開発であることから、導入後の保守やサポートも充実しています。

また、2022年8月、CMSに求められる「導入のしやすさ」「運用のしやすさ」はそのままに、変化が激しいDX社会に対応するためのフレキシブルな「拡張性」を併せ持つ新しいCMS=Connecting Management System（コネクティングマネジメントシステム）として「SITE PUBLIS Connect」をリリースしました。

URL : <https://www.sitepublis.net/>
<https://publis-connect.jp/>

お問い合わせ

企業名
株式会社サイト・パブリス

TEL
03-6550-9678

MAIL
press@sitepublis.co.jp

WEB
<https://www.sitepublis.net/>

会社住所
102-0074
東京都千代田区九段南一丁目4番5号
泉九段ビル4階